福井県・若狭美浜

若狭美浜はあとふる体験
「豊かな心と生きぬく強さを」

チームワークを育むボート体験

受け入れ家庭での食事

福井県美浜町は、人口1万人、町の端から端までは車で約30～40分の距離の中に、日本海の中でも豊富な魚種が採れる「若狭湾の漁村」、ラムサール条約登録湿地にも認定された景勝地「三方五湖」の湖村、山には木々が生い茂り、澄んだ空気と清らかな川が流れる豊かな自然の中で営む「若狭路の農村」が広がります。さらには、町の名の通り日本海に面した美しい「水鼠浜」が魅力的です。

一つの町で漁村、農山村、湖の文化が育まれています。若狭美浜はあとふる体験では、この自然豊かな地域の資源を生かし、漁業体験、農林業体験、自然・アウトドア体験、伝統味覚体験、工芸・歴史文化体験とバリエーションに富んだ42の体験プログラムを整えています。私たちは、「素顔の美浜に出会える」をコンセプトに美浜のありのままの暮らしを感じ、訪れる人々と地域の人々が体験を通じて交流を行います。自然や風景を守り、伝統や文化を伝え、食を育み、互いが心高まる、感動する交流「感交」をしたいと取り組んでいます。

また、京都の台所としての役割を担ってきたこの地域は京都から1時間半から2時間に位置し、さらには北陸の古都金沢からも約1時間半の距離となり、関西圏、北陸圏からも非常にアクセスの良い地域と言えます。今後は近隣市町と連携し、将来ある日本の子どもたちの育成に広域的に取り組みます。

インストラクターと共に汗を流し、本物の現場を体験することによって、生きる強さと自分の考え方を持ち、自発的に行動できる人間へとつなげていけるプログラムの一部をご紹介します。

ボート体験（信頼関係を滑るように進むことができます。

このボート体験を通じて、二つの大切な能力を身に付けることができます。一つ目は、メンバー同士がお互いの信頼関係を作ること。自分の役割を理解して行動に移し、継続していく力を身に付けることができます。二つ目には、主体性を引き出し、自ら学び続ける力を身に付けることができます。

民泊体験（心の温かさと人としての礼儀の心づくり）＝受け入れ人数300人

若狭美浜はあとふる体験では、人間関係の希薄さが問題となっている中で、民泊体験を通じて、人の温かさ、自分を応援してくれる気持ちを肌で感じることができる機会を大切にしています。自分の存在価値を再確認して、自分も高まりたいという意思、意欲を伸ばしていけるよう「心の平和教育プログラム」として「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えています。

若狭路新鮮素材で作るマイ海鮮丼作り（食の文化と若狭の漁村と農村の現状を知る）

福井県は47都道府県に先駆け、丼文化先進県として名乗りを上げており、福井県はお米の代表的品種「コシヒカリ」の発祥の地でもあります。このコシヒカリと、若狭湾で採れた新鮮な魚を自分自身で海鮮丼に合った形でさばき、「マイ海鮮丼」を作ります。

「マイ海鮮丼」の調理

と、物事を継続して活動できる心づくり）

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがこのボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。漕ぎ手4人とコックス（かじ取り）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。「一艇ありて一人なし」という言葉のように、1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、はじめて湖面を滑るように進むことができます。

団体での茶文化体験

クラスごとなどで同じ体験を共有したいという要望には、団体での体験プログラムもあります。茶畑を巡りながらお茶や茶づくりについて学ぶ茶畑散策をはじめ、お茶摘み体験、茶工場見学や、煎茶のおいしい入れ方体験、室町時代から歴史がある茶香服（お茶の飲みあてゲーム）など、楽しみながらお茶に親しみ、学んでいただけます。

大型民泊受け入れを本格スタート（300人まで可能）

受け入れ家庭のある和束町、笠置町、南山城村の3町村はいずれも、人口減少と少子高齢化に悩む地域。子どもたちとふれあい、交流を楽しみながら、そんな町に活気を取り戻すこと、歴史ある茶業や、茶が身近にある生活を守り伝えることを目的として事業を行っており、賛同した方々が受け入れ家庭になってくれています。

2014年度から、海外の団体や大学生の受け入れを始めて今年で5年目。受け入れ家庭は3町村で120軒を超え、今年5月、待望の日本の200人を超える大型中学校修学旅行の民泊受け入れ（複数回）が実現しました。学校にも、そして受け入れ家庭の皆さんにも、とても喜んでいただき、笑顔の中で終えることができました。

これからも、農村民泊が皆さまとこの地域の良き架け橋になるよう、さらに受け入れ態勢を充実させていきます。

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
コーディネーター　林・長谷川・寺下（携帯電話090-8967-9471）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21-4-1 〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL https://heartful-mihama.wixsite.com/mihama
E-mail: tabikobo-hayashi@air.ocn.ne.jp

滋賀県・近江日野

農山村で課題解決型の修学旅行を
三方よし！近江日野田舎体験
農泊と家業おまかせプランで心の交流

みんなで作った案山子

私たちのまち日野町は、〝売り手よし　買い手よし　世間よし〟の「三方よし」の精神で常に社会貢献の心を忘れず、商いに精進した近江日野商人発祥の地です。近江商人の三方よしの教えにならった生徒個々の生きる力を育む近江日野田舎体験と、生徒自らが考え設定する「課題」や「テーマ」を現地で受け入れ家庭の協力のもと解決、探求していくプランはいかがでしょうか。

近江日野の農村生活体験（農泊）は、先生方の本部宿からわずか15分圏内に150軒の受け入れ家庭を有します。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどをそれぞれの家庭で体験することにより探求的な学習につながると考えています。

日野町へは京都や奈良、名古屋からバスで約1時間30分、名神高速、新名神高速主要インターからも約30分と、関西圏、暮らしを体験し、その体験（農泊）と家業おまかせプランで心の交流を～

近江日野の農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしを体験し、その体験プログラムを用意し組み合わせることから、1軒ずつ内容もスケジュールも異なります。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食することによる「②農作業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業、共通体験を通して「③達成感や豊かさ」をより深く体感いただくことができます。農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「④リーダーシップの資質向上」「⑤主体性、協調性」を養うプランは数多くの学校さまにご支持いただいています。

近江日野商人の歴史と商法を学ぶ

食育課題「広島焼きを受入家庭に振る舞う」に応じて生徒が料理に挑戦

受け入れ家庭と笑顔でのお別れ

中部圏との交通アクセスは大変良好です。

■課題解決型の修学旅行のご提案～農村生活体験を通して心の交流を深めることにより、「①コミュニケーション能力の向上」が期待できます。

私たちは、体験することが目的なのではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「ひとりひとりが考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

おかげさまで三方よし！近江日野田舎体験は、教育旅行の受け入れを始めて10年目となります。安全安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しをお待ちしております。

一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
（日野町役場商工観光課内）
担当：中森雅之・西河佳子　行政支援：中江凌・大岡正和・福本修一
〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/

「主体的・対話的で深い学び」へ

京都府・山城地域

京都駅から1時間
宇治茶の郷で民泊・田舎体験
大型民泊の受け入れ本格スタート

お茶摘みを体験し、茶や茶づくりを学ぶ

宇治茶の産地であり、山を覆うように美しい茶畑が広がる京都府南部、やましろ地域。茶畑や茶工場の間に民家が点在する独特の風景があり、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の舞台でもあります。京都府産の宇治茶の約7割を生産するお茶の郷、和束（わづか）町と南山城村、そして歴史と観光資源に支えられた笠置（かさぎ）町の3町村を中心に、広域で農泊事業を進めています。

京都・奈良に近い田舎やましろ地域は、京都市内、大阪市内から車で1時間強、宇治市や奈良市から30～40分という立地にあります。都市圏に近いわりに、京都にもこんな田舎が?と驚かれるくらい、豊かな自然と素朴な暮らしが残っています。京都や奈良での歴史学習と併せて、田舎体験が可能です。

民泊～家庭での茶文化・田舎体験～

やましろ地域の特産はやっぱり宇治茶。受け入れ家庭は、すべてのご家庭が茶農家というわけではありませんが、親戚に茶農家がいたり、身近に茶畑が広がる地域です。

お茶といえばペットボトルを思い浮かべ、家庭に急須のない子どもたちも多くなってきた昨今、受け入れ家庭では、急須でお茶を入れて飲む時間を取ったり、茶畑を散策したり、暮らしの中に息づく茶文化を感じていただくことにしています。

お茶を摘み、晩ご飯にみんなで茶葉の天ぷらを。畑のある家庭では収穫した野菜や山菜、地元の産品を使い共同調理します。収穫のほか、種植えなどの畑作業や、家業体験、まき割り、伝統的なものづくりや遊びなど、どの家庭も工夫をこらして準備しています。

団体での茶文化体験

クラスごとなどで同じ体験を共有したいという要望には、団体での体験プログラムもあります。茶畑を巡りながらお茶や茶づくりについて学ぶ茶畑散策をはじめ、お茶摘み体験、茶工場見学や、煎茶のおいしい入れ方体験、室町時代から歴史がある茶香服（お茶の飲みあてゲーム）など、楽しみながらお茶に親しみ、学んでいただけます。

大型民泊受け入れを本格スタート（300人まで可能）

受け入れ家庭のある和束町、笠置町、南山城村の3町村はいずれも、人口減少と少子高齢化に悩む地域。子どもたちとふれあい、交流を楽しみながら、そんな町に活気を取り戻すこと、歴史ある茶業や、茶が身近にある生活を守り伝えることを目的として事業を行っており、賛同した方々が受け入れ家庭になってくれています。

2014年度から、海外の団体や大学生の受け入れを始めて今年で5年目。受け入れ家庭は3町村で120軒を超え、今年5月、待望の日本の200人を超える大型中学校修学旅行の民泊受け入れ（複数回）が実現しました。学校にも、そして受け入れ家庭の皆さんにも、とても喜んでいただき、笑顔の中で終えることができました。

これからも、農村民泊が皆さまとこの地域の良き架け橋になるよう、さらに受け入れ態勢を充実させていきます。

茶畑の散策

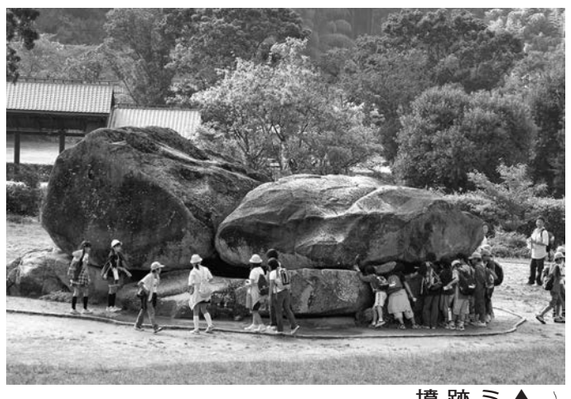
茶農家で自家製茶を入れる

受け入れ家庭で食卓を囲む

京都やましろ体験交流協議会
（一般財団法人 和束町活性化センター内）
担当　下村
お問い合わせ　平日8：30～17：00
〒619-1222 京都府相楽郡和束町白栖大狭間35
TEL 0774-78-3396　FAX 0774-66-3496
E-mail:wazuka-t@chagenkyo.com

奈良県・飛鳥地域

生きる力を育む―
大和飛鳥の民家ステイ



▲ホストファミリーと史跡、石舞台古墳を巡る

農作業体験

みんなで巻きずしづくり

私たちの活動の舞台である飛鳥地域は、奈良県の東南に位置し、飛鳥時代の史跡と歴史、農村風景が多く残る地域です。かつて政治や経済の中心地であったこの飛鳥から、初めて「日本」という国号が使われ、聖徳太子や天武天皇など歴史上の人物が日本のかたちを創った、まさに「日本のはじまりの地」であります。飛鳥は全域にわたって数多く存在する歴史的文化遺産とこれらの周囲の自然的環境が一体となって形成されていることが大きな特徴です。

民家ステイのエリアは、この飛鳥時代の歴史を色濃く残す「飛鳥エリア」「宇陀エリア」と、吉野の入り口で商業など的な存在として政治、経済、文化の上でも重要な役割を果たしてきた「下市エリア」の3エリアから構成されています。受け入れ家庭も3エリア合わせて約180軒を超え、合同受け入れ可能人数は約400人となっております。

「ほんもの」の歴史に触れられるこの地で、「歴史文化」「自然体験」「交流と食」について、総合的に学んでみませんか。

◆大和飛鳥の民家ステイで大切にしていること

①「ほんもの」の歴史

「私は飛鳥の歴史を伝えたい」とある受け入れ家庭は話します。歴史の舞台となった場所に自らが立ち、史跡を間近に見て、その地に暮らす人々の話を聞いてみてください。歴史上の出来事を肌で感じることで、日本人のルーツを学べます。

②食&共同調理

「食べること」は生きること。「食」がおろそかになっている今こそ、食材や調理方法について学び、日本の食文化を継承できる人材を育成していくことが地域の願いです。「食事づくり」は、食生産現場を理解し、採りたてならではの本物を味わう機会となるだけでなく、食わず嫌いだった自分に気づくチャンスになるかもしれません。

③交流&コミュニケーション

初めて出会うホストファミリーと、「家族」として過ごす貴重な時間。緊張したり気を使ったり、ありのまま「家族」として触れ合っていく中で交流を深め、試行錯誤しながら人間関係が築かれていきます。家族のありがたさが改めて感じられるきっかけになることもあるでしょう。

◆ホストファミリーと生徒がともに創り出す「おまかせ家業体験」

その日の天候、その日の生徒の様子をホストファミリーがよく観察し、ぴったりの体験プログラムをしつらえます。みんなで一緒にその日の仕事をし、ご飯を食べ、時間を共に過ごす。何げないことを大切にしている「大和飛鳥民家ステイ」です。

◆安心・安全

多くのホストファミリーは本部（先生の宿泊施設）から車で30分圏内に分布、提携病院の立地を含めエリアがコンパクトで、緊急時は速やかな対応が可能です。アレルギーや配慮すべき点について事前把握を徹底し、滞在中のトラブルを未然に防ぐよう努めています。

年6回の民家ステイセミナーに加え、ホストファミリー対象のガイドセミナー、スキルアップ研修を実施し、民家ステイの質の向上、理念の確認やホストファミリーとの意識の統一を図っています。

◆大都市からのアクセスが良好

関西国際空港や新大阪駅からは車で1時間半、京都駅からは電車で1時間圏内。近畿の各名所のアクセスにも便利な立地です。京都の班別行動と組み合わせるも良し、USJで遊ぶも良し。東大阪の町工場見学との組み合わせもお勧めです。

秋には稲刈り体験も

一般社団法人 大和飛鳥ニューツーリズム
〒634-0112 奈良県高市郡明日香村島庄5番地（明日香村商工会館内）
TEL 0744-54-1525　FAX 0744-54-1526
E-mail:info@asukacom.jp

9月に「飛鳥ニューツーリズム協議会」から「一般社団法人大和飛鳥ニューツーリズム」へ名称変更しました。